

官民連携 神奈川県警からの依頼で注意喚起 あらゆる特殊詐欺から高齢者を守る

7 月 1 日より 神奈川県内約 8000 枚を弁当配達時にチラシを配布

高齢者専門宅配弁当サービスを展開する株式会社シニアライフクリエイト（本社：東京都港区、代表取締役社長：高橋洋）が運営する高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」は、神奈川県警からの依頼で特殊詐欺に対する注意喚起のチラシを 7 月 1 日より配布いたします。



◆ 宅配を通じて特殊詐欺を未然に防止する活動に協力

「宅配クック ワン・ツウ・スリー」は現在、毎日全国で約 93,000 人（うち神奈川県内では約 8,000 人）のお客様にお弁当を届けています。また、お弁当の配達時には、必ず声かけを行っており、お客様である高齢者との信頼関係を築くことで安全ネットワークの一助となることを目指しています。

お弁当の宅配を通じて“顔なじみ”になっているお客様とは、お弁当を渡す際に色々な会話をします。今回のチラシをきっかけに、特殊詐欺の手口などを話題にし、より身近な犯罪として意識を高めることができればと神奈川県警からの協力依頼に応えることにいたしました。

◆ 平日の日中に多く発生する特殊詐欺から高齢者を守る

一言で特殊詐欺と言っても、その手口は様々、しかも常に変化しています。神奈川県警によれば、特殊詐欺の認知件数は平成 27 年から年々増加しています。被害者の男女別年齢層では 70 代・80 代の女性が突出して多く、曜日別発生状況および時間帯別発生状況を見ると、平日（月～金曜日）の時間帯は 11:00～16:59 の日中に多く発生しており、土・日曜の発生件数が少なくなっています。

「宅配クック ワン・ツウ・スリー」は、昼・夕ごはんの時間帯、すぐ食べられるよう常温でお届けしています。宅配時間が特殊詐欺の発生時間と重なることから、効果的な注意喚起ができると期待を寄せています。

参照：神奈川県警察「特殊詐欺の認知状況」 <https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesc2005.htm>

◆熱中症の注意喚起で、ちぎり絵うちわの配布を 7 月 10 日から開始

当社では、16 年前の 2004 年から熱中症への注意喚起を促すために、弁当と一緒にうちわを配布しています。今年も 7 月 10 日から全国で約 65,000 本のうちわの配布を開始いたします。配布するうちわの表面は、オリジナルちぎり絵うちわになっており、ベースのイラストに加えてパーツが印刷された紙が配布されます。お客様は一人ひとりパーツを手でちぎってうちわに貼り、オリジナルうちわ作りを楽しむ事ができます。イラストのテーマは毎年異なり、今年は「花火」。全国の花火大会の開催が危ぶまれる中、少しでも夏の風物詩を楽しむきっかけになればと考えています。

また、作ったうちわは、毎月発行している会報誌「あはは」に投稿してもらい、うちわをきっかけに楽しみや会話が生まれるよう工夫しています。

【高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」】

高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」は、現在全国で約 350 店舗展開しており、うち約 300 箇所の市区町村行政から配食サービスを受託しています。

「宅配クック ワン・ツウ・スリー」では、在宅の高齢者を中心に、宅配時の手渡しによる見守り・安否確認を創業時より実践しています。昼食・夕食を別々に届け 1 日 2 回訪問することで、より顧客に近い存在となるべく努めています。また、お届けの際に倒れているなどの異常が発見された場合には、速やかにケアマネジャーやご家族と連動する地域密着型の独自のサービスを展開しています。

【会社概要】

会社名： 株式会社シニアライフクリエイト
代表： 代表取締役社長 高橋 洋
本社： 東京都港区三田 3 丁目 12 番 14 号 ニッテン三田ビル 6F
TEL. 03-5427-3981
ホームページ： <http://slc-123.co.jp/>
設立： 1999 年 12 月
資本金： 28,000 万円
事業内容： 1) 高齢者専門宅配弁当「宅配クック ワン・ツウ・スリー」フランチャイズ本部の運営
2) 高齢者施設向食材卸事業「特助くん」の運営
3) 高齢者向コミュニティサロン「昭和浪漫倶楽部」の運営
4) 高齢者施設向厨房受託事業「結の台所」の運営

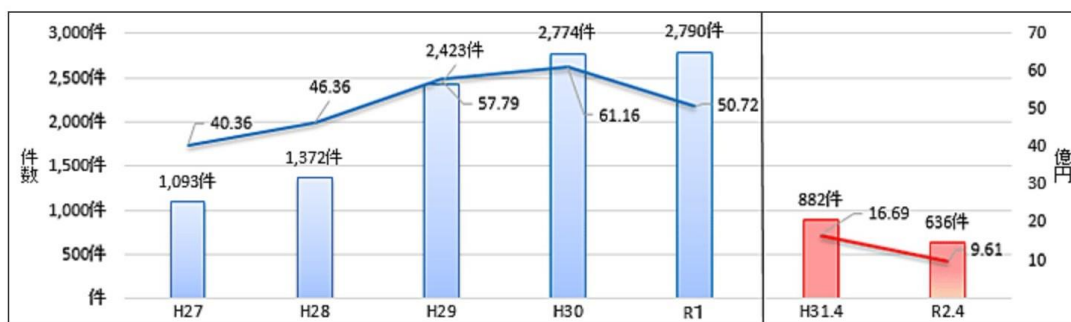
＜本件に関するお問い合わせ先＞

シニアライフクリエイト広報事務局

担当：小林（080-3498-2239）・柴山（070-1389-0172） メール：pr@netamoto.co.jp

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788

特殊詐欺の認知状況（年別）



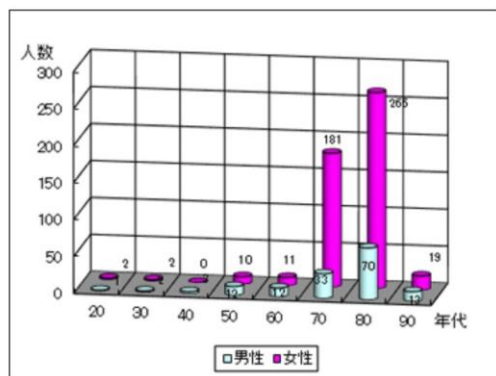
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	平成31年4月	令和2年4月
認知件数	1,093件	1,372件	2,423件	2,774件	2,790件	882件	636件
合計被害額	40億3,600万円	46億3,600万円	57億7,900万円	61億1,600万円	50億7,200万円	16億6,900万円	9億6,100万円

※ 被害額については、10万円の単位で四捨五入しています。

※ 平成27年～平成29年の認知件数、被害金額は確定値になります。

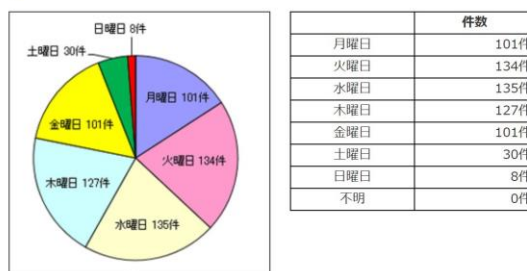
※ 平成30年～令和2年の認知件数、被害金額は、特殊詐欺（窃盗）を含んだ暫定値となります。

被害者の男女別年齢層（暫定値636件）

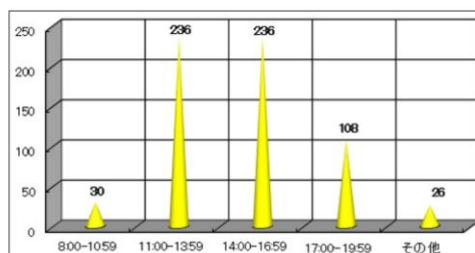


	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
男性	1人	2人	3人	12人	12人	33人	70人	13人
女性	2人	2人	0人	10人	11人	181人	265人	19人

曜日別発生状況(暫定値636件)



時間帯別発生状況（暫定値636件）



	8時00分～10時59分	11時00分～13時59分	14時00分～16時59分	17時00分～19時59分	その他
件数	30件	236件	236件	108件	26件